【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成28年8月18日(2016.8.18)

【公表番号】特表2014-517934(P2014-517934A)
【公表日】平成26年7月24日(2014.7.24)
【年通号数】公開・登録公報2014-039
【出願番号】特願2014-509763(P2014-509763)
【国際特許分類】
*Ｇ０２Ｃ　7/06　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｃ　7/06

【誤訳訂正書】
【提出日】平成28年6月29日(2016.6.29)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
眼科用レンズの製造プロセスを制御するための、コンピュータ計算手段によって実行される方法であって、
（ｉ）基準面に対する前記眼科用レンズの被製造導出面の相対位置を規定する少なくとも６個の位置パラメータを決定するステップであって、
－　公称基準系で表される公称面であって、前記基準面に対する前記公称面の相対位置を規定する前記位置パラメータの公称値で製造されるべき理論的導出面に対応している公称面を提供する公称面提供ステップ（Ｓ１）と、
－　前記公称基準系で表される前記被製造導出面の被測定面を提供する被測定面提供ステップ（Ｓ２）と、
－　少なくとも１つの変形調整パラメータによって規定された少なくとも１つの変形面を提供する変形面提供ステップ（Ｓ３）と、
－　前記被測定面と前記変形面とを加えることによって被構成面を決定する被構成面決定ステップ（Ｓ４）と、
－　前記公称面と前記被構成面との間の差を最小限にすることによって、前記位置パラメータ及び少なくとも１つの変形パラメータを決定するパラメータ決定ステップ（Ｓ５）と、を含むステップ、を含み、
（ｉｉ）前記６個の位置パラメータを使用することによって前記基準面に対して位置決めされた前記被測定面と前記公称面との間の差に対応する誤差面を決定する、誤差面決定ステップと、
（ｉｉｉ）前記誤差面を制御する制御ステップと、
を更に含む、方法。
【請求項２】
前記パラメータ決定ステップが更にゾーン決定ステップを含み、前記ゾーン決定ステップでは、対象のゾーンを前記公称面において決定し、且つ前記対象のゾーンにおける前記公称面と前記被構成面との間の差を最小限にすることによって、前記位置パラメータ及び前記変形パラメータを決定する、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記パラメータ決定ステップを、減衰最小二乗プロセスを使用して実行する、請求項１

又は２に記載の方法。
【請求項４】
前記被測定面を光学的測定によって決定する、請求項１～３のいずれか一項に記載の方法。
【請求項５】
前記被製造導出面は非対称の導出面である、請求項１～４のいずれか一項に記載の方法。
【請求項６】
前記少なくとも６個のパラメータが３個の平行移動係数及び３個の回転係数を含む、請求項１～５のいずれか一項に記載の方法。
【請求項７】
前記変形面が、球面パラメータ、円柱面パラメータ及び軸パラメータによって規定された球－円環面に対応する、請求項１～６のいずれか一項に記載の方法。
【請求項８】
前記変形面が、軸パラメータ及び角度パラメータによって規定された直円錐に対応する、請求項１～６のいずれか一項に記載の方法。
【請求項９】
レンズ製造プロセスの制御方法であって、
ｅ）製造装置を使用して、製造プロセスに従ってマスターレンズを製造するステップと、
ｆ）請求項１～８のいずれか一項に記載の方法によって、ステップａ）の前記マスターレンズの前記少なくとも１つの変形パラメータを決定するステップと、
ｇ）前記少なくとも１つの変形パラメータの値を記録するステップと、
ｈ）ステップａ）～ｃ）を定期的に繰り返し、前記少なくとも１つの変形パラメータの進化を、時間を経て確認するステップと、
を含み、
前記レンズ製造プロセス中に使用された前記製造装置の少なくとも１つのパラメータの前記進化を、時間を経て確認し、且つ前記マスターレンズの前記少なくとも１つの変形パラメータの時間経過の前記進化は、前記製造装置の前記少なくとも１つのパラメータの時間経過の進化と関連している、方法。
【請求項１０】
製造装置を使用してレンズを製造する製造方法であって、
－　レンズブランクを提供するステップと、
－　前記レンズブランクをブロック化するステップと、
－　前記レンズブランクの少なくとも一方の面を表面仕上げするステップと、
を含む方法において、
前記製造方法を、請求項９に記載の方法によって確認することを特徴とする、方法。
【請求項１１】
前記方法が、眼下用累進レンズ表面仕上げプロセス、例えばデジタル表面仕上げプロセスを含むことを特徴とする、請求項１～１０のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１２】
データ処理装置用のコンピュータプログラム製品であって、前記データ処理装置にロードされると、前記データ処理装置に請求項１～１１の何れか一項に記載の方法のステップを実行させる一連の命令を含むコンピュータプログラム製品。
【請求項１３】
請求項１２に記載のコンピュータプログラム製品の１つ以上の一連の命令を保持するコンピュータ可読媒体。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００８９

【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００８９】
例えば、本発明人らは、球－円環変形面の球面パラメータ、円柱面パラメータ及び軸パラメータと、製造装置の中で光学レンズがブロック化される方法との間の相関関係を観察した。